

# 『県1部リーグに昇格して』

日立小田原サッカー部 小嶋美浩

我がサッカー部は2007年度に1部復帰を果たし、現在、県西地区からの唯一の1部所属チームです。振り返ってみますと94年度に県2部リーグ昇格。その勢いのまま、会長杯で準優勝→関東社会人大会に出場した思い出があります。トーナメント1回戦で現在のJFLの横河武蔵野FCと対戦し、1-2とスコア上は善戦しましたが、ほとんどボールポゼッションすることが出来ずに、関東リーグのチームとの違いを身をもって経験することが出来ました。

確か、この時期は西湘クラブが1部リーグに所属しており、同じ小田原協会のチームとして我々の身近な目標であったことは事実です。

その後、4年間ほどは2部の中位程度の成績でチームの士気低下が顕著な時期でした。当然、小田原リーグでも満足な成績が残せていません。

しかし、99年度に『新規メンバー加入』と『守備戦術見直し』が成果としてあらわれ、8勝2分で2部優勝を飾り、悲願の1部昇格が果たせました。

当時、守備のベースは構築できていたので、1部でも中位程度の成績は残せると、見積もっていましたが、実際は毎試合厳しいゲームの連続でなかなか勝ち点を得ることが出来ませんでした。毎年、降格のボーダーライン上でハラハラ、ドキドキ。いつになく勝ち点1の重みを感じていた当時です。しかし、残念なことに4年目に2部降格となりリーグの厳しさを経験しました。

この経験から、チームづくりのベースは『1部残留』ではなく『上位定着』とし、練習環境の変更、スカウティングも積極的に展開しメンバーの世代交代も実施。新生日立小田原がスタートしました。

やはり、現在のチームのレベルは1部上位定着するのには足りない部分がありますが、それを補うために、毎週多くのメンバーが練習に取り組んでいます。

これからも、厳しさの中にもサッカーの原点である『楽しさ』を忘れずに目標に向かい取り組んで行きたいと考えます。